

# 2022年3月期 第2四半期決算説明会 2021年11月1日

代表取締役社長 小林 茂





### 本日のプレゼンテーション



- 2022年3月期 第2四半期 連結決算概要2022年3月期 通期 業績見通し
- 事業セグメント別 今期見通し・展望
- 設備投資・減価償却費/研究開発費
- 申長期の展望(デジタル社会/カーボンニュートラル関連需要)
- 財務(資本政策・自己株買付/要約CF/総資産・配当)

#### 22年3月期 第2四半期 連結決算概要



|                      |      | (信         | 意円) | 21年3月期 | 公表値<br>4月→7月 | 2     | 2年3月期 | 前年同期比                    |
|----------------------|------|------------|-----|--------|--------------|-------|-------|--------------------------|
| 売                    | لـ   | E          | 高   | 1,949  | 2,400→2,     | 500 2 | 2,502 | 為替影響<br>+49 <b>+ 28%</b> |
| 営                    | 業    | 利          | 益   | 116    | 340→42       | 20    | 459   | +14 +297%                |
| 経                    | 常    | 利          | 益   | 122    | 320→40       | 00    | 439   | +259%                    |
| 親会社株主に帰属する 73 四半期純利益 |      |            |     | 250→30 | 00           | 320   | +340% |                          |
|                      | 換算レー | _ <b> </b> | ト゛ル | 107円   | (105→108     | 円)    | 110円  | +3円                      |
|                      |      |            | 7-П | 121円   | (125→129     | 円)    | 131円  | +10円                     |

#### 前年同期比 増収・増益 利益は7月公表値を上回る

- セラミックス 乗用車・トラック販売回復を背景に自動車関連製品の需要が拡大し、増収・増益。
- ■プロステクノロシー 好調なファウンドリ投資を背景に半導体製造装置用製品の需要が増加。
- Iレクトロニクス 双信電機が連結除外となった影響や、収益認識基準の変更等もあり減収。 HDD用圧電素子や金属製品の需要増により増益。
- エネルギーインフラ がいしで費用削減・価格改定効果により赤字縮小。

© 2021 NGK INSULATORS, LTD. All rights reserved.

3

#### 22年3月期 連結決算概要(通期見通し)



|                       |      | (信 | 語円)        | 21年3月期       | 公表値<br>4月→7月             | 22年3月期       | 前期比             |
|-----------------------|------|----|------------|--------------|--------------------------|--------------|-----------------|
| 売                     | 1    | _  | 高          | 4,520        | 4,850→5,15               | 05,150       | 為替影響 + 99 + 14% |
| 営                     | 業    | 利  | 益          | 508          | 700→800                  | 830          | +42 +63%        |
| 経                     | 常    | 利  | 益          | 530          | 680→790                  | 820          | +55%            |
| 親会社株主に帰属する 当期 純利益 385 |      |    |            |              | 500→580                  | 600          | +56%            |
|                       | 換算レ- |    | ト"ル<br>ユーロ | 106円<br>124円 | (105→107円)<br>(125→127円) | 110円<br>131円 | + 4円<br>+ 7円    |

## 売上/利益共に過去最高※を更新

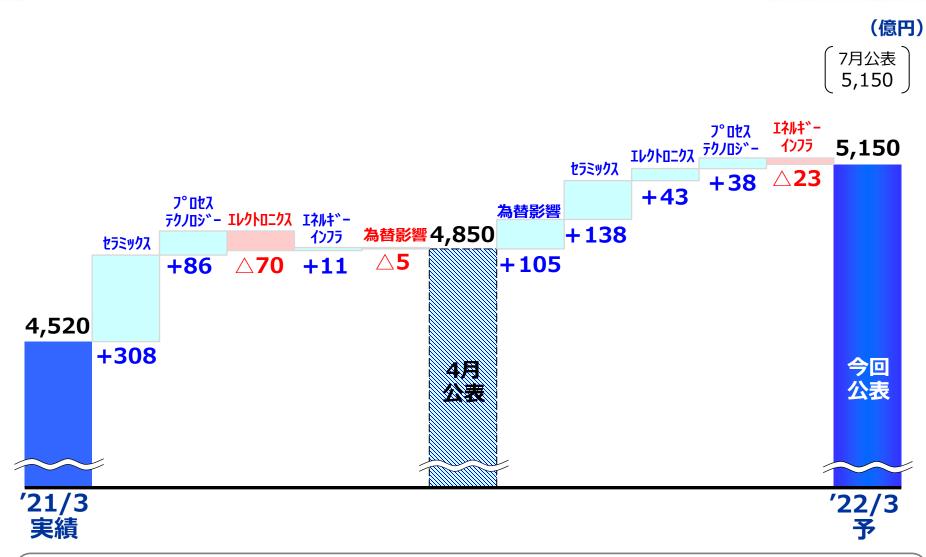
※売上:19年3月期 4,635億円、営業利益:16年3月期 809億F

- セラミックス 排ガス規制の強化に加え、乗用車・トラック販売の回復を背景に需要が拡大。 償却費等が増加するものの、増収効果が上回り増益を見込む。半導体不足や 物価高騰の影響等、不透明な要素もあり今後の動向を注視。
- ■プロセステクノロジー 高水準なファウンドリ投資が継続。需要が堅調に推移し増収・増益。
- ■エレクトロニクス 金属製品やパッケージ製品の需要増により増益の見通し。
- ■エネルギーインフラがいしは需要低調も、費用削減や価格改定効果等により黒字化の見通し。

© 2021 NGK INSULATORS, LTD. All rights reserved

### 22年3月期 売上高 増減内訳

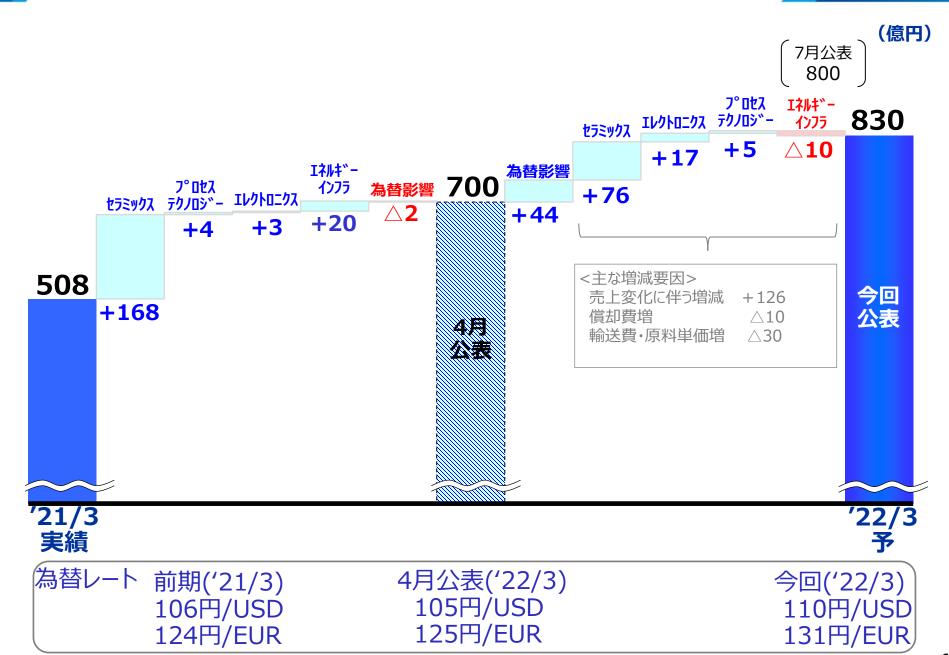




為替レート 前期('21/3) 4月公表('22/3) 今回('22/3) 今回('22/3) 106円/USD 105円/USD 110円/USD 124円/EUR 125円/EUR 131円/EUR

### 22年3月期 営業利益 増減内訳





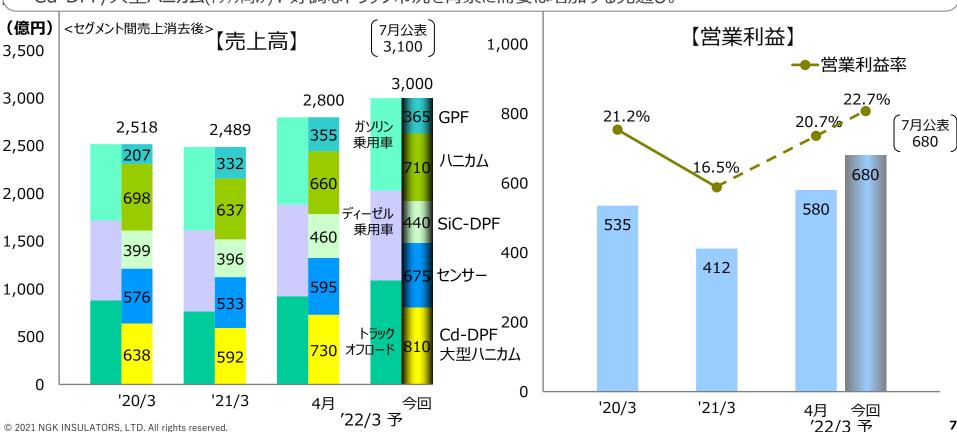
#### セラミックス事業の今期見通し(対4月公表比)



#### ●自動車関連

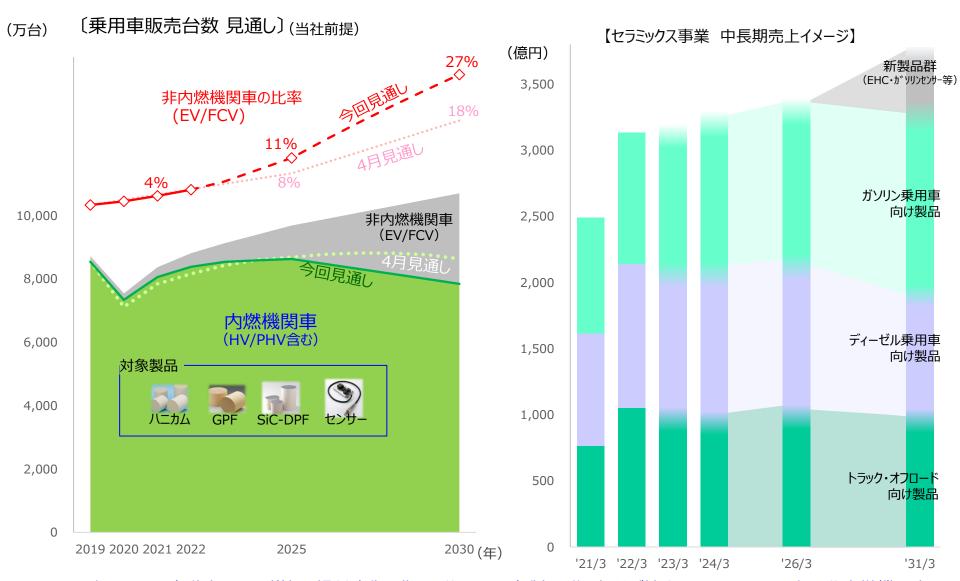
半導体不足に伴う自動車メーカーの生産調整や足元で中国経済減速等の影響があるものの、期首想定に比べ順調な自動車市況を受けて各製品の需要が増加する見通し。利益は物流費等の増加を増収効果がカバーし、4月見通しを上回る見込み。一方、更なる半導体不足影響や物価高騰影響等、不透明な要素も多く、今後の動向を注視する。

- ・GPF/ハニカム (ガソリン乗用車向け):乗用車市況の回復を受けて、需要は堅調に推移する見通し。
- ・SiC-DPF (ディーゼル乗用車・トラック向は): 自動車メーカーの生産調整等の影響を受けて、4月見通しから微減。
- ・センサー(ディーゼル乗用車・トラック向は):乗用車市況の回復と在庫回復の動きが重なり需要が増加。
- ・Cd-DPF/大型ハニカム(トラック向は):好調なトラック市況を背景に需要は増加する見通し。



### セラミックス事業の展望





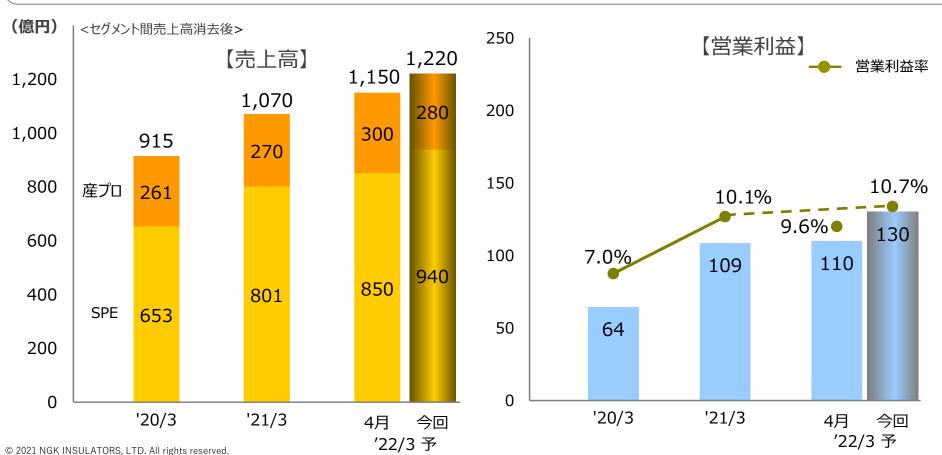
2025年頃までは自動車需要の増加と規制強化を背景に順調に既存製品群の収益が拡大。2025~2030年の非内燃機関車の比率は欧州・中国を中心にEV化の進展を見込み、4月見通しより厳しい前提を今回設定。内燃機関車の需要は漸減するものの、更なる規制強化に対して新製品を含む高付加価値品を投入するなど、中長期で収益の維持・拡大を目指す。

© 2021 NGK INSULATORS, LTD. All rights reserved.

### プロセステクノロジー事業の今期見通し(対4月公表比)



- ●半導体製造装置用製品(SPE) 高水準なファウンドリ投資を背景に半導体製造装置需要は4月想定を上回り、当社需要も堅調に推移する見通し。
- ●産業プロセス リチウムイオン電池正極材用加熱装置の需要は活況も、一部投資計画に遅れがあり、4月見通しを下回る見込み。

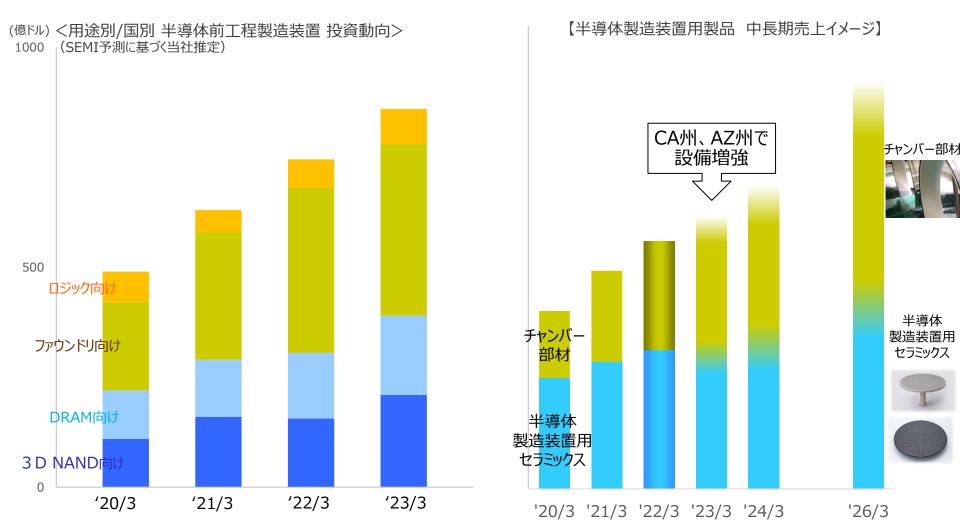


g

### プロセステクノロジー事業の展望

# NGK

#### ■半導体製造装置用製品



高性能ロジック半導体へのシフト、データストレージ容量の増加等を背景に、ファウンドリ向けを中心に中期的に高水準な投資が継続し、 半導体製造装置需要は大幅に増加する見通し。需要の増加を受けて、半導体製造装置用セラミックス・チャンバー部材共に将来の物量拡大が期待できる。チャンバー部材は米国CA・AZ州の各拠点で設備増強を実施し、将来の需要増に対応していく。半導体製造装置用セラミックスは、多治見工場を中心にDXを推進し、更なる生産の効率化を進めていく。

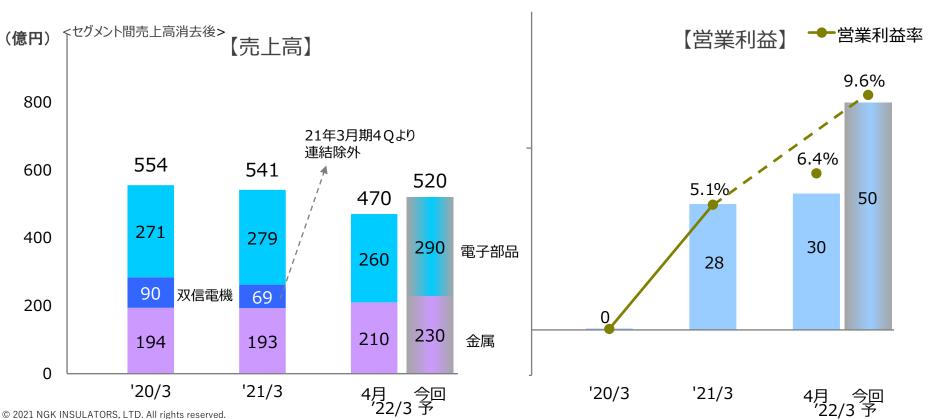
### エレクトロニクス事業の今期見通し(対4月公表比)



#### ●電子部品

HDD用圧電素子は、好調なデータセンター投資を背景に順調に需要が拡大し、売上・利益共に4月見通しを上回る。 SAWフィルター用複合ウエハーは、4月想定通り堅調に推移する見込み。 セラミックパッケージは、水晶デバイス向け需要が増加するほか、携帯基地局向けも需要が増加。

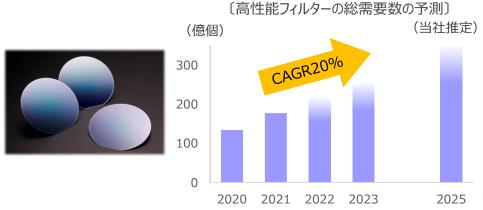
● 金属 自動車需要の回復に加え、中国家電向けに需要が増加する見通し。



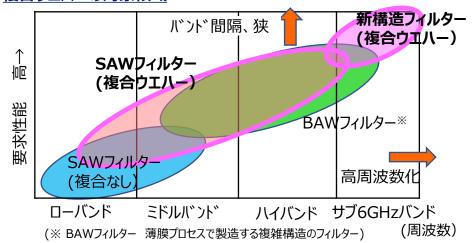
### エレクトロニクス事業の展望

#### ■SAWフィルター用複合ウエハー

温度特性を高めた高性能SAWフィルター用複合ウエバー。通信システムの高度化により要求性能が高まると共に、携帯端末のフィルター搭載数が増加し、高性能フィルター市場は年率20%程度の拡大を見込む。



#### 複合ウエハーの対象領域



高性能フィルターではBAWフィルターが先行するが、SAWフィルター用複合ウエハーの更なる開発を進め、拡大する需要に対応。



#### ■HDD用圧電素子

主としてデータセンターのニアラインサーバーに用いられる大容量HDD向けマイクロアクチュエーター。新型コロナによるライフスタイルの変化に呼応し、大容量HDDストレージ需要の拡大が継続。SSDに対するコスト優位性確保のため、HDDの更なる大容量化も進む。

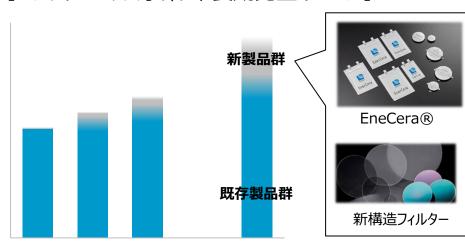
増産投資を進め拡大する需要に対応すると共に、 高性能化を進める。

#### ■水晶デバイス向けセラミックパッケージ

スマホやウェアラブル機器など通信機器の市場拡大や高周波化に伴い、小型品の需要は年20%程度の拡大を見込む。

拡大する需要に対応し、順次生産能力を増強する。

#### 【エレクトロニクス事業 中長期売上イメージ】



'22/3 '23/3 '24/3 '26/3 高速・大容量通信の進展等の環境変化を捉え、既存事業 強化と新製品拡充により2030年には売上高3倍を目指す。

#### エネルギーインフラ事業の今期見通し(対4月公表比)

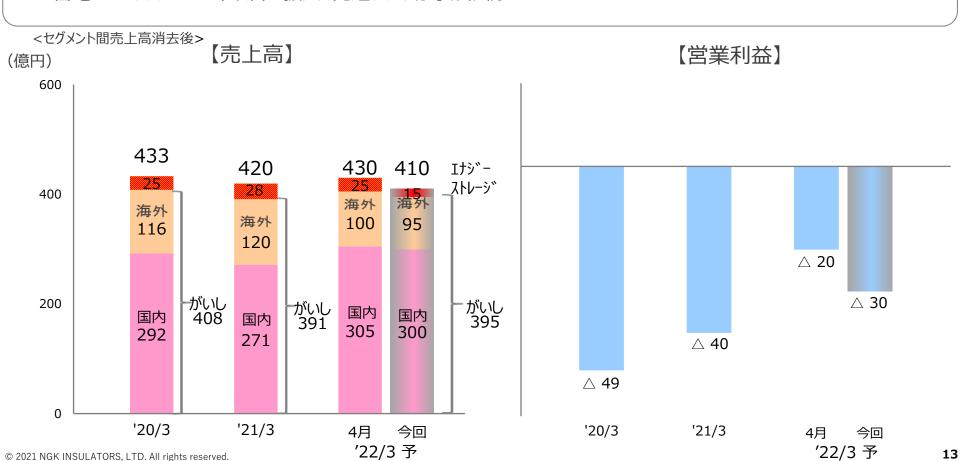


#### ●がいし

価格改定効果により利益は6年ぶりの黒字化を見込むも、コロナ影響に起因した海外新設プロジェクトの延期や国内需要の落ち込みにより、当初想定を下回る見通し。

#### ●エナジーストレージ

脱炭素社会の実現に向けた取り組みや施策検討が動き出すも、蓄電池ニーズは4時間以下の短時間が中心。長時間 蓄電のニーズは2025年以降の拡大と見込まれ、赤字が継続。



### エネルギーインフラ事業の展望



#### ■ NAS®電池

国内:第6次エネルギー基本計画が閣議決定され、2030年度の再エネ電源比率の見通しは約36~38%%へ拡大。

蓄電池市場の拡大は、再エネ投資が加速する2025年以降を見込む。

※2019年度は18%程度

再エネ

#### <ターゲット市場>

・需要家:再エネ導入やBCP対策に向けた調整力・蓄電用途

・系統蓄電:再エネ導入に伴う電力需給ギャップに対する調整力

⇒再エネ導入拡大に向け蓄電池を活用する制度整備に期待。

・地産地消:域内における電力の長期需給調整やレジリエンス の確保を目的とした蓄電用途

⇒脱炭素に関心の高い自治体等に対し、NAS電池の特長 (長時間蓄電)を活かす再エネ活用モデルを提案。

#### 〔地産地消モデルの取り組み〕

- •2021年4月、岐阜県恵那市、中部電カミライズ(株) と地域新電力会社「恵那電力」の設立で合意
- 恵那市のエネルギーの地産地消による地方創生と脱炭素化に貢献

MAS MAS 再エネ併設 送電網 火力発電所 変電所 配電系統 地域 需要家 地産地消 マイクログリッド 配電網 配電網 再エネ 需要家 需要家 NAS

海外:欧米を中心に再エネ導入が拡大し、蓄電池ニーズが増加。 短時間蓄電用途が中心も、長時間用途も顕在化。

BASFとの提携等により米国・欧州など各国で販売網を拡充。 顕在化しつつある需要の確保に向けて認証取得などを進めると 共に、競争力向上のためのコストダウンも推し進める。

#### (BASF社との提携)

2019年 6月 販売提携契約 締結

系統蓄電(再エネ併設含)

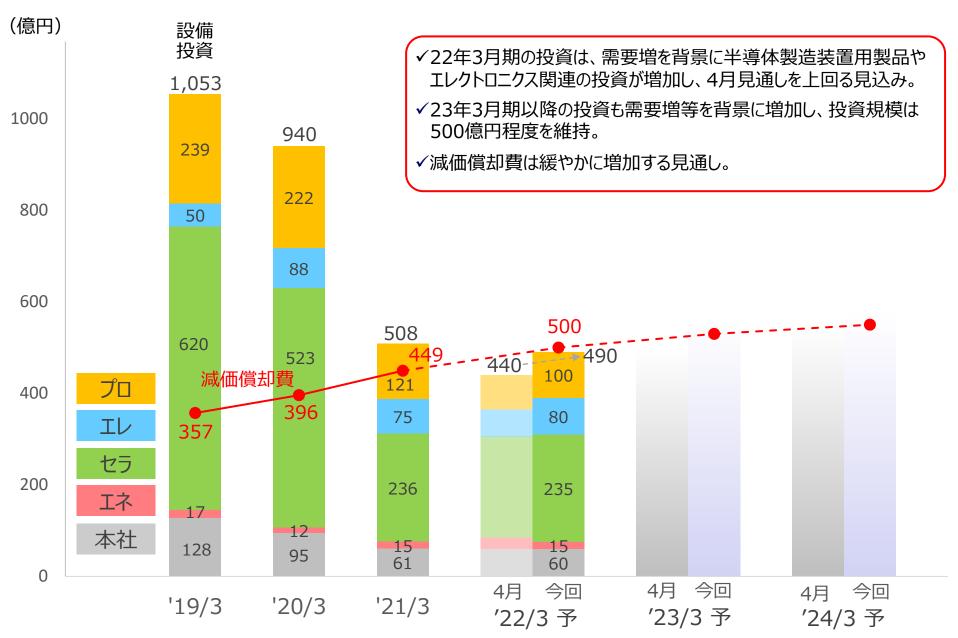
2019年11月 次世代ナトリウム硫黄電池の共同研究契約 締結

2021年10月 BASFのアントワープ拠点でNAS電池が運用を開始

BASFの子会社であるBASF New Business GmbHがNAS電池を 導入。NAS電池システムを保有して長期運用することで、顧客視点 のメリットや具体的な使用用途を検証し、最適なビジネスモデルの 構築を目指す。 (2021年10月20日プレスリリース)

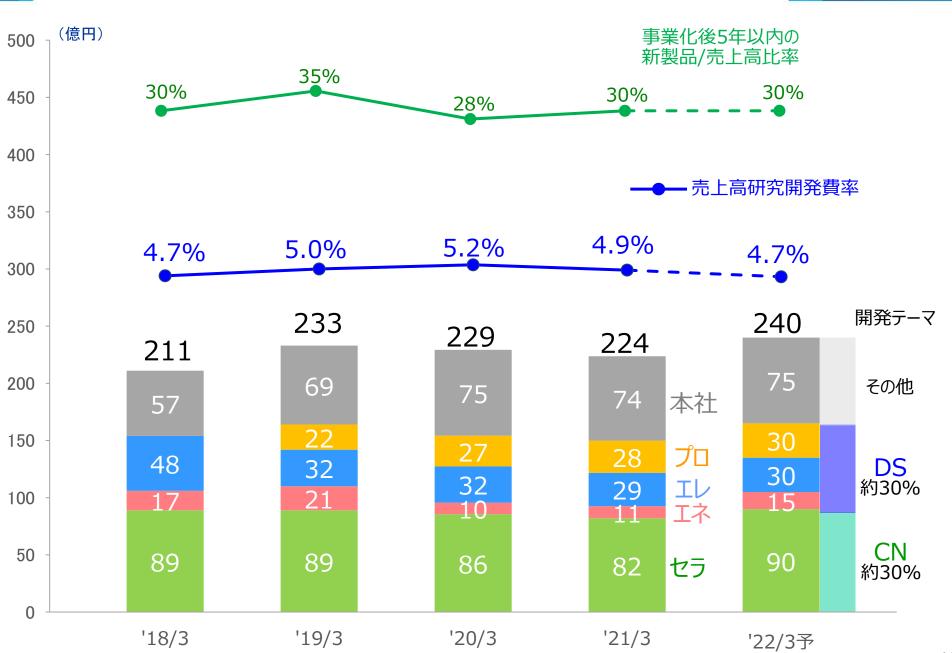
### 設備投資・減価償却費





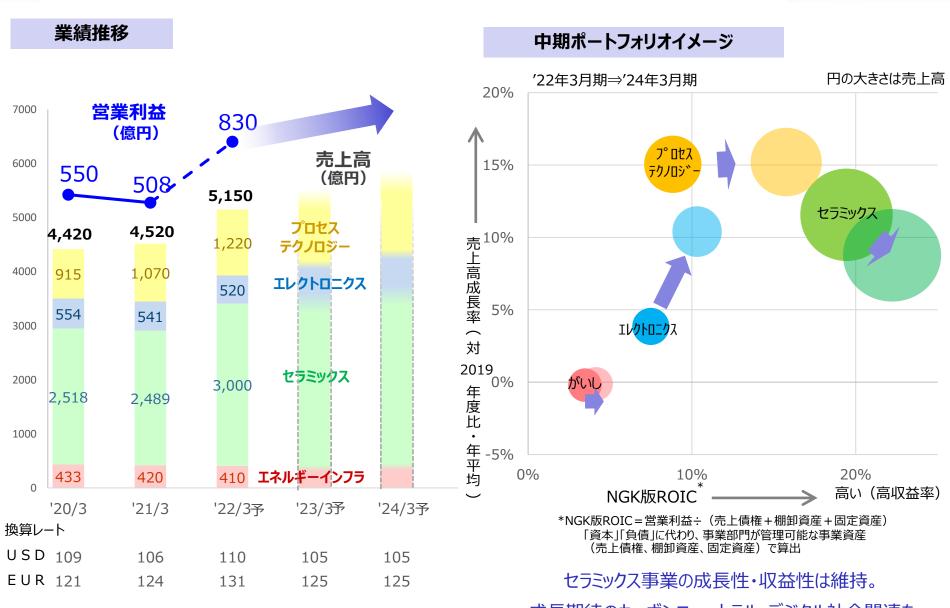
### 研究開発費





### 中期業績見通しと事業ポートフォリオ

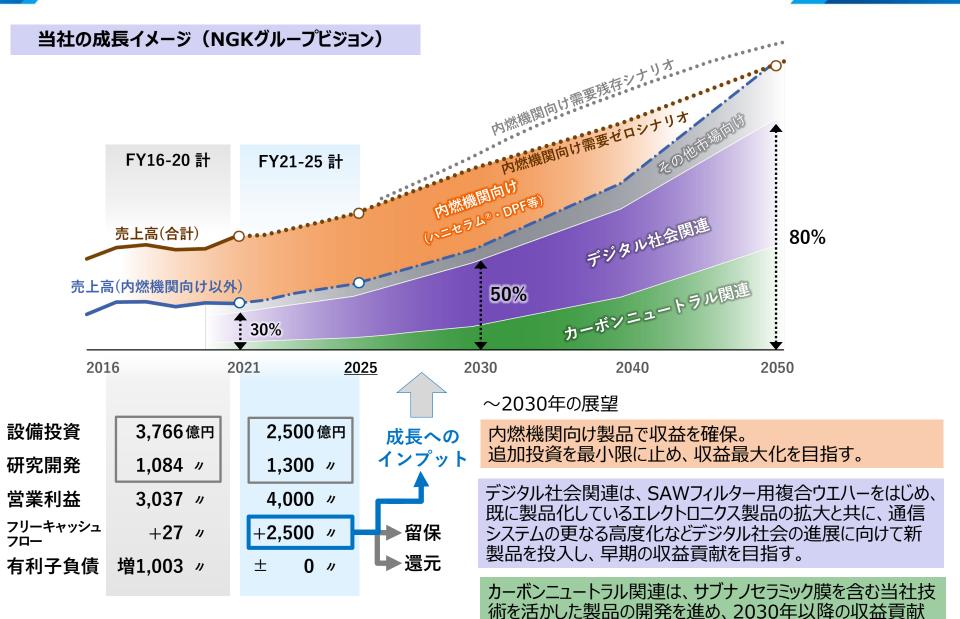




成長期待のカーボンニュートラル・デジタル社会関連を 伸ばし、各事業の成長性・収益性の向上を図る。

#### 中長期の展望





© 2021 NGK INSULATORS, LTD. All rights reserved.

を目指す。

#### カーボンニュートラル/デジタル社会関連の新製品



**CN** カーボン ニュートラル

苛酷な使用環境下で CO₂の高精度な 分離・回収を実現



発火のリスクがなく屋内設置が 可能で非常用電源や 再エネ連携を安全に実現



DS デジタル 社会

loTのメンテナンスフリー化を実現、 カードのセキュリティを高度化、 ウェアラブル機器を身近に



独自の結晶配向制御技術による 高耐熱・大容量・ 高出力で短時間充電可能な 超小型薄型電池

> 5Gや次世代の 高速大容量通信 ネットワークに貢献



© 2021 NGK INSULATORS, LTD. All rights reserved.

## 要約キャッシュ・フロー



(億円)

|                      | ′20/3                                   | ′21/3                            | ′22/3予  |
|----------------------|---|----------------------------------|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー     | 532                                     | 856                              | (4月見通し)<br><b>(870)1,070</b>                          |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー     | △608<br>設備投資支払△954                      | △ <b>517</b><br>設備投資支払△533       | (△490)<br>△ <b>550</b><br>設備投資支払△490                  |
| 財 務 活 動 によるキャッシュ・フロー | △188<br>新規借入+370<br>返済△290<br>自己株買付△100 | <b>123</b><br>新規借入+325<br>返済△ 94 | (△460 <u>)</u> 440<br>新規借入+150<br>返済△330<br>自己株買付△100 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額等    | △29                                     | 52                               | (△40) △10   |
| 現金及び現金同等物の増減         | △293                                    | 513                              | (△120) 70   |
|                      |   |                                  |   |

947

1,460

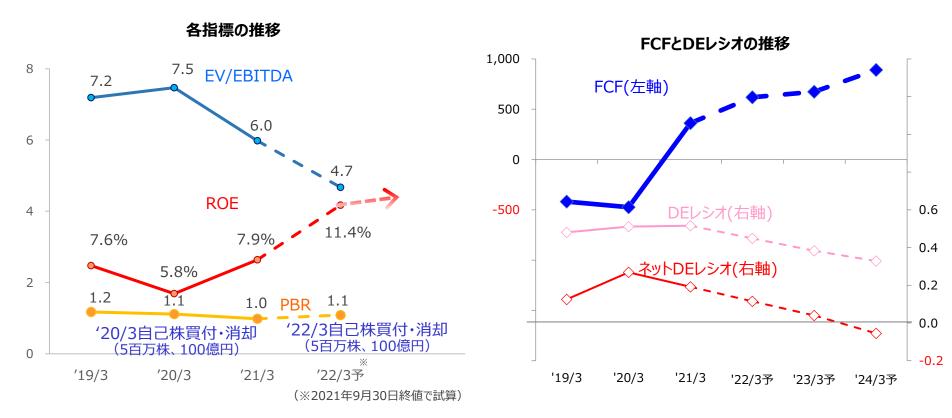
現金及び現金同等物期末残高

(1,340)1,530

### 資本政策



- ✓ 資本コストを上回る収益性の確保と財務健全性を両立。中長期の観点から積極的な株主還元。
- ✓ 利益率、資本回転率、財務レバレッジを事業戦略と整合した健全な水準に保つ。

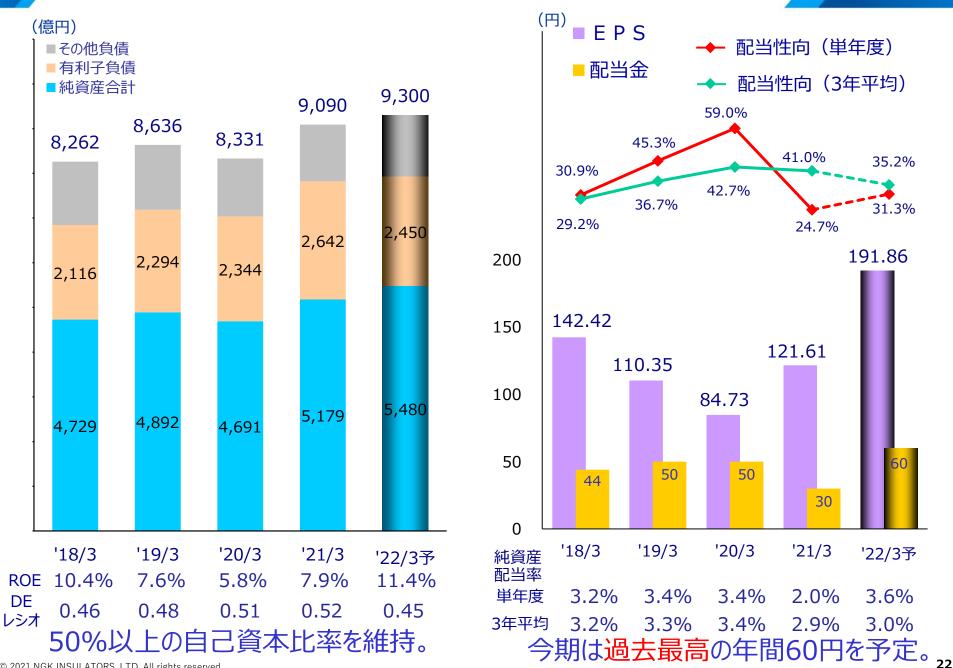


- 22年3月期は業績改善に伴いROEも大幅改善の11.4%を見込む。
- 資金面では過去5年の設備投資から継続的なリターンが得られ、営業キャッシュフローは拡大する見通し。有利子負債も活用しつつ、成長へのインプットと株主還元を行う。

© 2021 NGK INSULATORS, LTD. All rights reserved.

### 総資産·配当





# 事業別売上高 (通期)



(億円)

|               | Chert 37 |        |        |        |
|---------------|----------|--------|--------|--------|
| <セグメント間売上消去後> | 19年3月期   | 20年3月期 | 21年3月期 | 22年3月期 |
| がいし           | 467      | 408    | 391    | 395    |
| エナジーストレージ     | 32       | 25     | 28     | 15     |
| エネルギーインフラ合計   | 498      | 433    | 420    | 410    |
| ハ ニ カ ム       | 760      | 698    | 637    | 710    |
| G P F         | 108      | 207    | 332    | 365    |
| Cd-DPF・大型ハニカム | 695      | 638    | 592    | 810    |
| SiC-DPF       | 390      | 399    | 396    | 440    |
| セ ン サ -       | 562      | 576    | 533    | 675    |
| セラミックス合計      | 2,514    | 2,518  | 2,489  | 3,000  |
| 金属            | 223      | 194    | 193    | 230    |
| 電 子 部 品       | 263      | 271    | 279    | 290    |
| 双 信 電 機       | 102      | 90     | 69     | _      |
| エレクトロニクス合計    | 588      | 554    | 541    | 520    |
| 半導体製造装置用製品    | 725      | 653    | 801    | 940    |
| 産業プロセス        | 310      | 261    | 270    | 280    |
| プロセステクノロジー合計  | 1,034    | 915    | 1,070  | 1,220  |
| 全 社 合 計       | 4,635    | 4,420  | 4,520  | 5,150  |

# 事業別売上高(上期·下期)

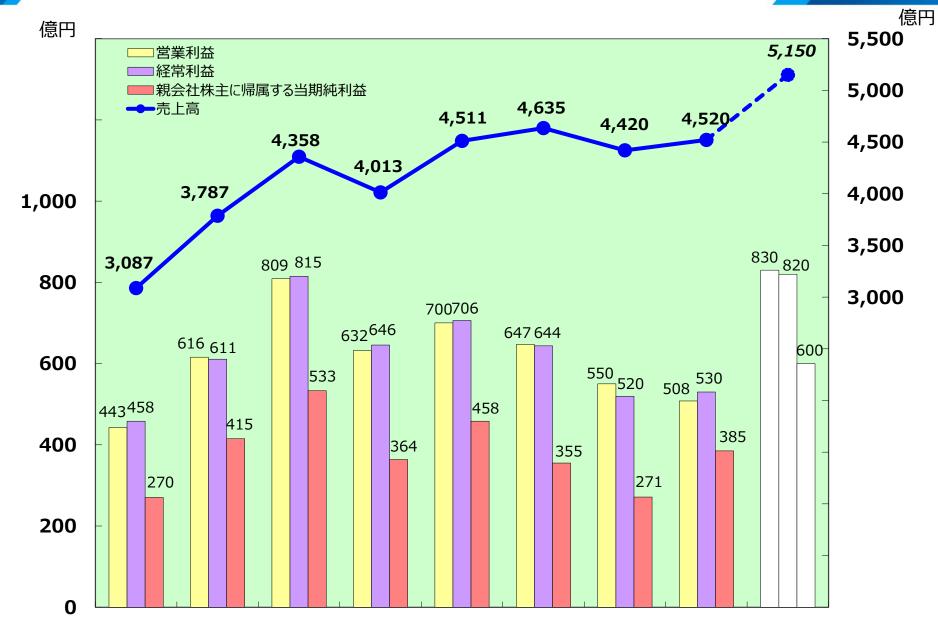


(億円)

| <セグメント間売上消去後>        | 21年   | 3月期   | 22年3月期 |       |  |
|----------------------|-------|-------|--------|-------|--|
|                      | 上期    | 下期    | 上期     | 下期    |  |
| がいし                  | 188   | 204   | 191    | 204   |  |
| エナジーストレージ            | 3     | 25    | 8      | 7     |  |
| エネルギーインフラ合計          | 191   | 229   | 199    | 211   |  |
| ハ ニ カ ム              | 251   | 386   | 358    | 352   |  |
| G P F                | 137   | 195   | 161    | 204   |  |
| C d - D P F・大 型 ハニカム | 224   | 367   | 409    | 401   |  |
| SiC-DPF              | 149   | 247   | 227    | 213   |  |
| センサー                 | 222   | 310   | 321    | 354   |  |
| セラミックス合計             | 983   | 1,506 | 1,476  | 1,524 |  |
| 金属                   | 88    | 105   | 117    | 113   |  |
| 電 子 部 品              | 136   | 142   | 140    | 150   |  |
| 双 信 電 機              | 44    | 25    | -      | -     |  |
| エレクトロニクス 合 計         | 268   | 273   | 257    | 263   |  |
| 半導体製造装置用製品           | 401   | 400   | 458    | 482   |  |
| 産業プロセス               | 107   | 163   | 111    | 169   |  |
| プロセステクノロジー合計         | 507   | 563   | 570    | 650   |  |
| 全 社 合 計              | 1,949 | 2,571 | 2,502  | 2,648 |  |

### 業績推移





2013年度 2014年度 2015年度 2016年度 2017年度 2018年度 2019年度 2020年度 2021年度

本資料は当社の経営方針、計画、財務状況等の情報をご理解いただくことを目的としており、当社の株式の購入、売却など、投資を勧誘するものではありません。

本資料に記載されている業績目標及び数値等はいずれも、 当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値で あり、これらは経済環境、競争状況、需要動向などの不確実な 要因の影響を受けます。

従って、実際の業績数値は、この配布資料に記載されている 予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知置きください。

# 四本ガイシ株式会社

〒467-8530 名古屋市瑞穂区須田町2-56

IR窓口 : 財務部 開示グループ

Tel:(052) 872-7210 Fax:(052) 872-7160

E-mail: ir-office@ngk.co.jp

Website: https://www.ngk.co.jp

